

# ふくおかの経済

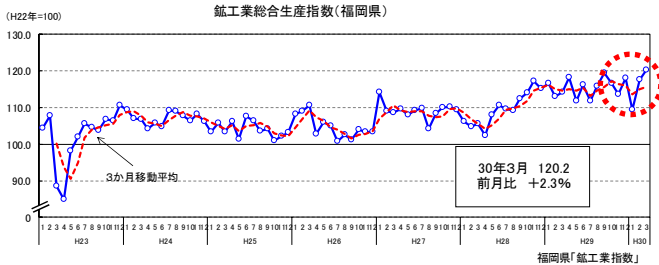
平成30年5月号



## 生産

### 高水準で推移

3月の生産指数は、輸送機械などが上昇して、2か月連続で前月を上回り、引き続き高水準で推移しています。

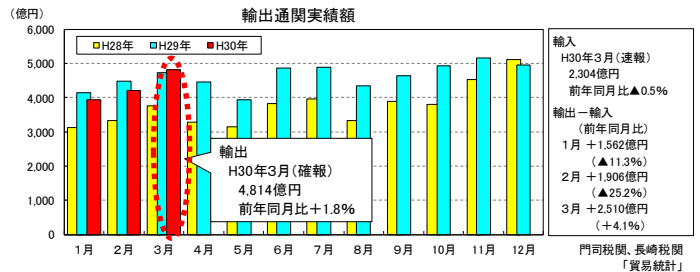


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

## 貿易

### 輸出は高水準で推移、輸入は回復している

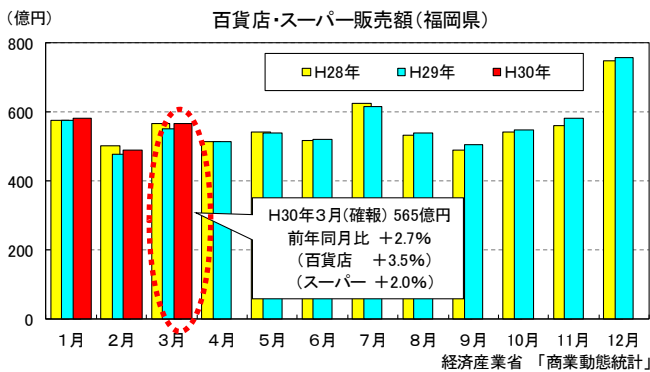
3月の輸出は、中国・中東向け自動車などの増加により4か月ぶりに前年を上回り、引き続き高水準で推移しています。



## 消費

### 緩やかに増加している

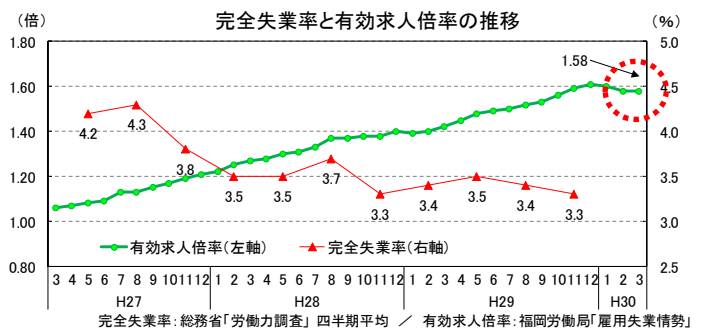
3月の百貨店・スーパー販売額は、外国人観光客の増加に加え、化粧品や高額品の動きが好調だったことなどから、8か月連続で前年を上回りました。



## 雇用

### 着実に改善が進んでいる

3月の有効求人倍率は1.58倍で、前月と同率となり、昭和38年の統計開始以来、過去最高の水準で推移しています。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。

1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

## 今月のトピック 対米輸出の現状 ~自動車と鉄鋼への米国通商政策の影響は?~

- 米中の貿易摩擦など、米国の通商政策が世界経済にどのような影響を及ぼすのかに注目が集まっています。
- 対米輸出の状況を見ると、全国、福岡県ともに米国向けは2割程度となっています。福岡県では、2017年に米国向けが増加して輸出の伸びをけん引しています。(図1、2)
- 米国向け輸出品目は、全国で自動車の割合が約3割ですが、福岡県では6割を超えています。輸出依存の高い自動車は、関税引き上げの影響は大きいと考えられ、米国通商政策の先行きが懸念されます。一方、米国で関税が引き上げられた鉄鋼は、全国、福岡県ともに輸出額が小さく、最近の報道では関税引き上げの影響はほとんど出ていないようです。(図3、4)

